

2018年度 神戸YMCA
学校関係者評価委員会 記録

日時：2019年2月28日（木）18:30～20:30

場所：神戸YMCA三宮会館201教室

I. 出席

林敬子氏 (みどりトータルヘルス研究所)
岩野祐介氏 (関西学院大学神学部)
岩本哲人氏 (神戸市立六甲アイランド高校)
追原三重氏 (日本アンガーマネジメント協会)
海老直人氏 (ANAクラウンプラザホテル神戸)
中島孝幸氏 (甲南大学文学部)
瀧瀬真知子氏 (神戸YMCA学院専門学校 講師)

(以上委員)

松田道子 (校長)
田村光 (副校長)
古谷茉穂 (ホテル学科主任)
橋本唯 (日本語学科学生課)
鐘瑋悦 (日本語学科学生課)

(以上職員)

I. 聖書朗読 ～神戸YMCA2018年度年間聖句～

「すべての人を一つにしてください。」(ヨハネによる福音書17章21節)

I. 議題

1. 神戸YMCA全体報告

神戸YMCA三宮会館は、今年度で開設2年目を迎え、会館2年点検を実施予定。

神戸YMCAへの支援として、新たに上組から1,000万円の寄付をいただき、専門学校の両学科で学習奨励費を増加させることができた。さらに、学生対象に接遇マナー講座を実施した。

2. 2018年度の現状と2019年度募集状況報告

1) 専門学校 ホテル学科 (古谷氏)

実習の一環として、模擬結婚式と披露宴が行われた。ライフ&シニアハウスの方も参列し、日頃の授業成果を出すことができた。

海外研修に希望した学生が2名で、新2年生の中も海外実習に目を向ける学生がいる。2019年度への課題と対策として、留学生が増えているので、その対応がより必要となる。募集広報強化にむけて、オープンキャンパスの内容を精査し、模擬挙式の紹介を入れるなど、より興味をひきつける工夫を取り入れる。

2) 専門学校 日本語学科 (橋本氏)

秋学期は160名で始まり、現在は156名で授業を行っている。

新たに就職サポートクラスを開始し、希望者のうち数名が就職を決定した。

2019年4月期生：45件申請し、42件交付された。

以上、承認

3. 2018 年度 学校評価について

別紙資料に添って報告がなされ、下記のような補足や質疑応答がなされた。

- ・評価表は文科省のフォームを基本に、日本語教育機関の評価に必要な項目を追加した形で作成をした。今後は、項目内容を精査し、必要に応じて基本フォームを変更していく。継続して評価をすることで、学校運営に活かしていく予定。
- ・ホテル学科は、ホテル現場と協力して授業展開を続けていることを活かすべく、職業実践専門課程として認定されるよう準備を進めていく。

自己点検評価に関して、以下のような質疑応答があった。

質問：学校として消防訓練を行っているか？

回答：規定どおり年 2 回の避難訓練を行っている。残念ながら、学生達は事前に知らされているため緊張感が薄い、という指摘をうけた。

質問：両学科の同窓会をしているか？

回答：ホテル学科は 40 周年・50 周年の節目に記念行事を行った。日本語学科は、旧三宮会館のバザーに合わせて行ってきた。そして、新会館オープンに合わせて開催した。

ともに正式な同窓会組織がないため、OB 達の現状が十分に把握されていないのが残念である。スタッフや講師の退職や異動等で、昔の学生が来ても昔の話ができないことがある。卒業生の把握と組織が長年の課題ではある。

質問：自己点検をどのように公表をするのか？ 評価の根拠はどのようになっているか？

回答：ウェブサイトアップして公表をする。評価過程については、各項目別に評価をする段階で、各項目別に評価の具体的な根拠をあげて、4 段階評価を行っていった。内部資料として、この評価フォームに具体的な根拠を書き込んだ資料を作成している。この委員会では、この評価根拠を出すほうがよいだろう。今後の評価として、現在の 4 段階評価以外の評価方法を活用することも検討する。

以上、承認

I. 閉会

今回の委員会での協議を受け、各項目別に内容を精査し、学校運営の課題発見とその改善につとめていく。

以上